

パネルディスカッション 3

「*H. pylori* 感染と自己免疫性胃炎」

司会 鎌田 智有（川崎医科大学健康管理学）

西澤 俊宏（国際医療福祉大学成田病院消化器内科）

H. pylori 感染率の低下に伴い、自己免疫性胃炎（AIG）が臨床で認識される機会は増えつつある。近年、日本消化器内視鏡学会の附置研究会から「AIG の診断基準に関する新たな提案」が示され、AIG がより多く、より早期に診断され、適切な診療が行われることが期待されている。一方で、AIG と *H. pylori* 感染の関連は、発症機序や病態進展、さらには除菌治療の影響を含め未解明な点が多く、あらためて整理が求められている。本パネルでは、AIG の病理・内視鏡所見に対する *H. pylori* 感染の寄与、サーベイランスおよび管理、自己免疫疾患併存への配慮など、診療に直結する論点を多角的に検討したい。AIG の診断と管理の最適な方向性を探り、活発なディスカッションが展開されることを期待して、幅広く演題を募集する。